

PRES EN TATION

プレゼンテーション
現代の作品 そのXLIV (44)

加藤真一郎 Folio for piano solo (2017初演)

Piano 正村恵

佐藤岳晶

結ぼれ、語られ、相聞かれ・・・

— クレオールの詩 — (2009/2017改訂初演)

二十五絃箏 福永真由美

武澤陽介

Akasha (2017初演)

Piano 吉田夢佳

寺内園生

コネクション (2017初演)

Violin 印田千裕 Cello 印田陽介

森山智宏

無伴奏ヴァイオリンのためのソナチネ (2017初演)

Violin 日俣綾子

《新進演奏家交流プロジェクト》

G. リゲティ 《ピアノのための練習曲集》より

〈開放弦〉 〈魔法使いの弟子〉 〈虹〉 〈ワルシャワの秋〉

Piano 正村恵

《プレゼンテーションの軌跡 III》

藤田耕平 ソプラノとピアノのための「白鳥」(1977) 詩 吉田一穂

『蛇の花嫁』より

ゆふぐれ／ともしひの揺れの如く／過ぐるもの／水に浮く花 (1972)

詩 大手拓次

Soprano 長島剛子 Piano 井上郷子

(曲順未定)

日時 2017.6.7 (水) 19:00 開演 (18:30 開場)

チケット 3.000円 (学生1.000円)

会場 杉並公会堂小ホール

日本作曲家協議会会員の方は、

主催 音楽文化協議会

当日、会員証を受付にてご提示上、

後援 一般社団法人 日本作曲家協議会

無料でご入場頂けます。

一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会

お問い合わせ info_presen@yahoo.co.jp

「プレゼンテーション」の第1回演奏会は、1968年、「日本現代歌曲のタベ」として東京で開かれ、松平頼則、松葉良、石井五郎、伊藤隆太、塚谷晃弘などの作品が歌われた。彼らは、日本の伝統的語法を生かし現代的感覚をもつ音楽を作曲したいと考え、その後、ほぼ毎年、新作の発表を行った。その後、新たな同人も加わり、次世代の作曲家たちへとその伝統を受け渡しつつ、今回で44回を迎える。これほど長く続いている作曲家のグループも珍しい。「プレゼンテーション」を主催する作曲家たちは、多様な手法を試みている欧米、特に東欧の作曲家たち、そしてアジアの作曲家たちとの交流の中で、内外の多くの作品を日本へ紹介し続けてきた。

今回は、「プレゼンテーションの軌跡 III」として、第2回演奏会以来作品を発表し続け、当会を牽引してきた藤田耕平（1945—）の回顧企画を設けた。出世作《白鳥》ほか同氏の孤高の歌曲の世界を、同人たちの多様な音楽世界と共にお届けする。

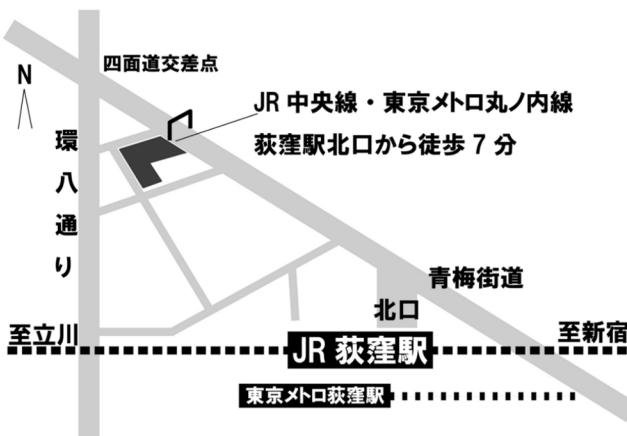
プレゼンテーション 同人作曲家プロフィール

加藤真一郎 KATO Shinichiro

1978年生まれ。桐朋学園大学卒業、同大学研究科修了（作曲専攻）。ロストック音楽大学、ミュンヘン音楽大学ピアノデュオ科マイスター課程修了。瀬尾久仁＆加藤真一郎ピアノデュオとして活動。マレイドラノフ国際2台ピアノコンクール第1位。国内外での演奏会、NHKへの出演、都響、東京フィル、京響との協奏曲の共演、多数の邦人作品の初演を行う。2003年芥川作曲賞ノミネート。現在、国立音楽大学、桐朋学園大学非常勤講師。

佐藤岳晶 SATO Takeaki

桐朋学園大学ピアノ専攻卒業後、パリ国立高等音楽院エクリチュール（作曲理論）科修了。近世邦楽の「内発的発展」を探る研究にて、東京藝術大学大学院音楽文化学専攻博士課程修了（学術博士）。西洋音楽、近世邦楽双方の領域での作曲・研究のほか、地歌箏曲を二代 米川文子師（人間国宝）に師事し、佐藤文岳晶の名で演奏活動も行う。これまでに作曲を、安良岡章夫、吉田進の各師に師事。京都女子大学准教授。



武澤陽介 TAKEZAWA Yousuke

千葉県出身。東京藝術大学を経て同大学院を修了。アンサンブル音楽賞を2度受賞。作曲を尾高惇忠、高橋裕、原田敬子、ピアノを長尾洋史の各氏に師事。これまで都立総合芸術高校、桐朋学園大学などで講師を勤める。現在、上野学園高等学校音楽科講師。

寺内園生 TERAUCHI Sonoh

ピアノを中野洋子と伊達純に、作曲と和声を寺内昭、川井学に学ぶ。寺内は1959年千葉に生まれ、高校卒業後渡独し、マリアフンク女子に作曲法を学んだ。代表作には、既出版のピアノ曲集「めざめ・静かな風」など、デリケートな感覚と想像力豊かな叙情的作品がある。ヴァイオリン・ソロ曲「アクティヴ」は、1999年2月にNHK・FMより放送され、弦楽四重奏曲「ナルシス」は、2010年5月にオペラ・ベルリンで演奏された。日本作曲家協議会会員。

森山智宏 MORIYAMA Tomohiro

1977年生まれ。桐朋学園大学音楽学部研究科作曲専攻修了。作曲を北爪道夫、飯沼信義、鈴木輝昭、ピアノ・作曲を間宮芳生の各氏に師事。第68回日本音楽コンクール作曲部門入選。第17回奏楽堂日本歌曲コンクール（一般の部）第1位。フルーティスト間部令子氏、ピアノデュオ瀬尾久仁＆加藤真一郎、東京混声合唱団、日本演奏連盟、指揮者山田和樹氏等より委嘱を受け、国内外で作品を発表。現在、桐朋学園音楽部門の専任教員として勤務する。日本作曲家協議会理事。全日本ピアノ指導者協会正会員。

《プレゼンテーションの軌跡 III》

藤田耕平 FUJITA Kohei

1945年横浜に生まれる。東京藝術大学作曲科卒業。作曲を池内友次郎氏、諸井誠氏、ピアノを金澤希伊子氏に学ぶ。

1979年ソプラノとピアノのための「白鳥」がヴィオッティー国際作曲コンクールにて1,2位なしの3位に入賞。1985年「黙示」がサンフランシスコの現代音楽週間で演奏され、NHK・FMより放送される。1996年オンドマルトノと弦楽合奏のための「時は雨のように…」また2000年ピアノのための「Far away」がそれぞれNHK・FMより放送された。2003年ピアノのための「風の道」がプラハで、2004年ピアノ連弾のための「雪女」がドヴォルジャーク没後100年を記念してプラハとネラホゼベスで演奏されている。

日本作曲家協議会会員。

杉並公会堂

〒167-0043 東京都杉並区上荻1-23-15

TEL:03-3220-0401

JR中央線・東京メトロ 丸ノ内線荻窪駅北口徒歩7分